

2023年7月号 Vol. 76 (2023年7月1日発行)

# せんしゅん

<http://www.senshunkai.or.jp/>

千春会

検索



ISO9001:2015認証取得  
日本医療機能評価(3rdG:Ver.2.0)認定病院

発行責任者：菊地 孝三



清々しい「摂津峡」の景観(大阪府高槻市)

## 理念 (3つの使命)

1. 患者・利用者の自立を支援し、良質な医療・看護・介護を提供する。
2. 仕事に誇りと責任を持ち、社会人としての向上を目指す。
3. 事業の充実により、住民の健康増進と地域社会の発展に寄与する。

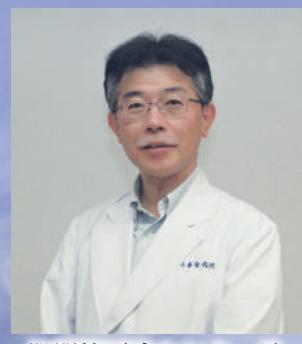
## 基本方針 (5つの志)

1. 優しい心を基本とする。
2. 医療と介護の相互充実を基本とする。
3. 疾病・障害を一体的に把握し、総合的な医療・介護サービスの提供を基本とする。
4. 良好的な療養環境の維持並びに向上を目指す看護・介護を基本とする。
5. 互いの立場を理解し、尊重しあう職場づくりを基本とする。

医療法人社団 千春会

# あと20年、生涯現役股関節外科医を目指す

– 2023年 夏に思う –



股関節再建センター長  
ふじた ひろし  
藤田 裕

千春会病院の股関節再建センター長として赴任いたしましてから、はや1年となりました。

新しく開設された手術室（クラス100）にて施行した人工股関節設置置換術（THA）手術は約半年間で25例となり、さらに予約も増加しているところです。

この人工股関節置換術（THA; Total Hip Arthroplasty）の目的は『痛みのない支点』を作ることです。手術を受ける患者さんの大部分は、日本人に多い『臼蓋形成不全』に起因する『変形性股関節症』に長年悩まされてきた方たちです。臼蓋形成不全では、股関節の受け皿の部分が急峻で小さいため、軟骨に掛かる圧力が亢進した結果、軟骨が吸収され遂には無くなることで、骨同士の潰しあいが始まり最終的に関節が変形してしまいます。その結果、脚が短く、可動域が狭く、痛みのため荷重できなくなり、歩行困難となります。そうなると患者本人の回復力に頼る治療は限界があり、人工関節の助けを借りることが必要になります。THAは1960年イギリスのウィガンでチャーンレイ先生により開発され、以後精力的に改良が続けられてきました。機能回復に寄与する手術としては、白内障に対する眼内レンズ挿入術と共に20世紀を代表する手術と言われています。

私は30年前にTHAを一生の仕事とすることを決意しました。まず大学院でビーグル犬にTHAを行い、従来の骨セメントと開発中の生体活性セメントを比較しました。結果として、従来の骨セメントの優位性が証明されたので、新セメントが市販されることはありませんでしたが、多くのことを学びました。次に、京都医療センターで人工股関節外来を立ち上げ、多くのTHAを行い、20年以上経った今でも一部の患者さんが外来に来てくれています。2000年には岡正典先生の推薦で1年間欧州留学をする機会に恵まれ、イギリス、スイスを起点に37の

施設を見て回り、今日の礎を築くことが出来ました。帰国後、富永病院、京大病院を経て、2003年京都桂病院に部長として赴任して、以後THA1100例以上、TKA600例以上を執刀しました。その頃から乙訓整形外科懇話会に定期的に出席し、地区の先生方と密な交流を続けてきました。実際、THAを受けた患者さんの28%は乙訓地区在住の方でした。

さて、千春会病院では、昨年9月より手術室（クラス100）が本格稼働し、幅広い患者さんを受け入れ、THAを25例施行し、すべて成功しております。その中には、輸血拒否例、大腿骨頸部骨折のため人工骨頭置換術を受けたが早期弛みのため再手術となった方、変形性股関節症に骨折を合併し準緊急的に手術となった方、強直例等、困難事例が多数含まれていました。年齢的には70歳代が多く、年齢層は56歳から86歳に及びます。

私が手術で最も大事にしているのは、『どんなに弱い骨であっても確実に人工関節を固定する』ということです。そのためすべてのTHAに骨セメントを使用しています。骨セメントを使用したTHAは高度な粗鬆骨、どのような難症例にも適切なインプラントの固定が得られます。他院で上手くいかなかった難症例も積極的に再建していく所存です。

今年を一つの区切りと考え、残された人生に思いを馳せることとなりました。これまで「安全で長生きする人工関節」を追求し、多くの股関節痛に悩んでいた患者さんたちに手術を行う中、患者さんに感謝されると、益々やる気が掻き立てられます。これから先20年THAに特化し、「自分が自分でいる」ためと「患者さんの一歩を守る」ために、『生涯現役股関節外科医』を目指します。皆様の益々のご支援をお願いします。

HP: <https://www.thafujita.com/>

# より正確に より細やかに 千春会病院で、MRI の検査ができます！

## MRI 装置 (1.5 テスラ Vantage Elan) を 新規導入いたしました

MRI 特有の大きな音が怖いとおっしゃる方も多いのですが、この 1.5 テスラは機械音が大幅に低減されています。また、検査時間も従来の製品と比べて 1/2 ほど短くて済みますので、患者さんの負担が軽減されます。

地域の医療機関の皆さんへ

検査の詳細、MRI の機能等につきましては、放射線技師がご説明させていただきますので、お気軽にお問い合わせ下さい。なお、予約に関するお問い合わせは 地域連携室までお願いいたします。

千春会病院 (075) 954-2175

患者さんの負担が軽減されます

検査時間の短縮

検査音の低減



導入の MRI 装置 1.5 テスラ  
(Vantage Elan) : Canon 製

ご存じですか

充実の専門外来 まずはご相談を

千春会病院では、通常の診療に加え、専門的な診療を提供する「専門外来」を開設しています。各分野のエキスパート医師が、様々な治療法で対応していますので、痛みや気になる症状があれば、早めに専門ドクターにお尋ねください。

		診察日	担当医
股関節専門外来	股関節でお悩みの方が相談され、股関節再建の手術等が可能です。	月・午後 (原則予約) 木・午前 (原則予約)	藤田 裕
膝専門外来	膝の痛みで困っている方、PRP 療法という新しい再生療法があります。	土・午前	原田 豪人
ショックウェーブ 外来	肘やかかと、つらい痛みに直接働きかける治療法です。	水・夜診 (原則予約)	原田 豪人
腹水外来	腹水を抜いて濾過し、栄養を残したまま適量を再注入する方法です。	水・午後 (原則予約)	富永 春海
物忘れ外来	認知症などの早期発見に役立て治療するために、ご相談は早めに。	金・夜診	重松 一生
禁煙外来	やめられないタバコも卒業できる方が多いので、一度ご相談を。	金・午前 (原則予約)	寺崎 由香
皮膚科	アレルギーや水虫など皮膚の悩みは専門家に相談して解決を。	水・午前 木・夜診 (第1・3・4・5週)	奥田 浩人
がん、リュウマチ、 膠原病	難病と言われる病気も今は、様々な治療法があります。	火・午前 (原則予約)	近藤 元治

他の専門外来も開設されていますので、時間等はお問い合わせ下さい。

これまであきらめていた症状が改善する可能性もありますので、ご相談はお気軽に！  
予約診療の場合もありますので、まずは千春会病院にお電話下さい。

千春会病院  
075-954-2175

# 講演会開催

千春会では、日本の医療・介護・福祉政策の現状を認識し、最新の情報を得ることで、地域に必要とされるサービス提供ができるよう、法人全体で学びを深めています。

毎年、講演会をご快諾いただいている、埼玉県立大学理事長・慶應義塾大学大学院名誉教授の田中 滋先生は、日本の医療・介護政策に関わるご提言にて、長年、国の政策実現にご尽力されておられます。



進行中の菊地三弥副理事長

## 埼玉県立大学理事長・慶應義塾大学大学院名誉教授 田中 滋 先生 テーマ：介護分野の進化を振り返り将来を考える

今回は、高齢者数がピークを迎えた後の考察として、歴史的な経緯を紐解きながら、これまでの医療・介護業界の進化、これから医療・介護業界に求められるものを基軸にご講演下さいました。



講演中の田中 滋 先生

まず、世界と仕組みを異にする「日本の社会保険制度」については、社会を守るために保険制度であることを政策的な視点でお聞かせ下さいました。保険料を支払う国民の全てが医療を受けられることで、人々は安心して暮らせ、働くことが出来る仕組みであること。加えて、介護保険制度、医療機関の自由開業制などの利点を示された上で、これらの仕組みが存在するからこそ、たとえ社会情勢が低迷しても、他国のように暴動が起きるような事態にならずに、社会存続の一助を担っていること。社会を守るために保険制度として、国民全員が助けあっている構図であるとご解説いただきました。

これからは、医療水準が高くなつたことで死亡率の高かった疾病が治り、要介護者は人類史上見たことのない数となる。さらには大半の高齢者が要介護と認知症発症を持つという大きな課題を示されました。さらに「30年前、要介護者の多くは家庭の中で介護を要したため、働き手がなくなり、労働損失が生じ、社会が崩壊するといった構図が見えていた。そのため、政策的に大きく舵を切ることになり、高齢者保健計画が始まり、多岐にわたる介護ニーズに応えるためにどのようにサービス提供体制を整えていくかが国として重要になった」と政策策定の経緯をご説明いただきました。

2000年に国が開始した介護保険制度に反対運動が一度もなかったのは、使い易さ、選択肢の多さと様々に対応できるサービス提供体制によるとした上で、かつて第二の特別養護老人ホームと言われていた「介護老人保健施設」が千春会のような超強化型老健として存在するようになったのは、サービス提供体制を民間に委ねた政策が功を奏したものである、とも示されました。

今後、少子高齢社会の中、高齢者には多岐に対応できる体制を、子どもには安心して育つことのできる環境を整え、子育てにおいては自分では暮らせない子どもにも考え方を巡らせることが必要であるとの見解を示されました。

「ニーズは変化しており、生存権を保障する普遍的な権利である社会保険制度等の従来サービスに加え、これからは医療、介護の提供だけでなく、高齢者が共助として社会参加できるための支援と包括的な視点での制度や取り組みが必要となる。制度は国で作られるが、地域包括ケアシステムができるかどうかは、地域、行政、医師会との連携が必須であり、政策的には2040年までに医療、介護体制を整えることが重要である」と方向性を示唆して、締めくくられました。

講演後、菊地副理事長からは、「千春会も医療・看護・介護・保育事業を通じ、乙訓地域で地域包括ケアシステムを体現してまいりましたが、今後も地域に必要なサービスを提供していくかねばなりません。これからも各地域の地域実情を踏まえ、法人職員の一人一人が自分たちのサービスは、どのように地域包括ケアの中で位置づけられているのか、何が必要なサービスなのかを、考える良い機会になりました」と感想を述べられました。

今後の医療・介護の方向性を考えるベースとなる、政策の経緯、制度改革の歴史、介護保険の進化を理解することで、さらに視座が広がった有意義な講演会となりました。千春会の方向性をあらためて認識し、今後も選ばれる法人を目指してまいります。

地域で 活き活き

## 「久寿会サロン」 開催

介護老人保健施設 春風  
地域交流スペース

老健 春風がある久貝地域にお住まいの方が運営する「久寿会サロン」は、高齢者の方々が集い、健康で活き活きした毎日を共に過ごすため、様々な取り組みをされています。

千春会へのご依頼を受け、春風のリハビリ科セラピストが関わり、健康体操を担うなど協力させていただいている。コロナ禍前には、月2回の会を春風の地域交流スペース等で実施されていましたが、この3年間は、一度も開催することが出来ず、ようやくの再開となりました。今回は、長岡京市が健康測定も実施するなど、久しぶりの会には大勢の方がお越しになり、元気にリハビリ体操を行い、楽しそうに談笑されていました。これからも以前のように変わらず、健康増進に役立つよう協力させていただきます。

今後、さらにデイケアセンターのリハビリ機器につきましても貸し出しのご依頼がありますので、デイケアが休日の日曜日に開放し、活用していただけるよう準備をしております。

地域の方々が千春会の各施設に集い、交流することで、健康につながる楽しい時間となるよう、協力してまいります。



リハビリ科 水津理学療法士と共に呼吸体操を行う皆さん

## 家族教室 開催

JR 長岡京駅前  
生涯学習センター  
バンビオにて

介護部では、介護をしている地域のご家族さま向けの勉強会を開催しています。コロナ禍で制限の多い数年でしたが、これからは、再び、しっかりと介護知識の提供ができるようになります。地域の方々も首を長くして待っておられたようで、思いがけず定員15名のところ約40名の参加申し込みがあり、初回テーマは2度に分けて開催することとなりました。



熱心に聴き入るご家族さま

「自宅での看護」をテーマに看護師であり、施設の責任者でもある瀧本マネージャーが看護師の目線で、介護にあたって気を付けなければならない点や看護の仕方など、スライドを使ってわかりやすく説明しました。参加された方々からは、「気づかないところが分かり、対処法を勉強することができたので、実際の介護にいかせます」との感想が寄せられました。



レクチャー中の  
瀧本マネージャー・看護師

次回は、「管理栄養士からの食事の工夫」がテーマとなります。今後も「口腔ケア」「保険制度」「更衣の工夫」「転倒予防」「移動・移乗」と様々なテーマにて、月1回開催いたしますので、お気軽に、最寄りの事業所にお問い合わせ下さい。

歳時記

子どもたちが田植えに行きました！

西代里山公園

「きらら保育園」保育・高齢複合施設 友岡  
(社会福祉法人 和楽会)



きらら保育園の園児たちが、西代里山公園に田植えに伺い、お茶碗のお米は、ここから育つことを教えてもらいました。子どもたちは、「しゃー」と歓声を上げながら、憶することなく笑顔で、水を張った田んぼの泥の中に入り、嬉しそうに田植えをお手伝いしました。みどりの協会、農家有志の皆さんに教えてもらいながら、長岡市職員も見守る中、小さな手で一株一株丁寧に苗を植える子どもたち。その真剣な姿は、可愛らしくも頼もしい助っ人でした。往復1時間も歩いた子どもたちですが、初めての田植え体験に「楽しかった!!」と、元気一杯でした。秋にはきっとおいしいお米が収穫できることでしょう。

これからも、子どもたちの実りになるよう、地域の方々と共に良い体験を重ねてまいります。

歳時記

長岡京市美化運動  
「ゴミゼロ運動」に参加

今年も5月30日に長岡市で取り組まれている「ゴミゼロ運動」に参画しました。千春会病院、JR長岡京駅周辺を看護師、セラピスト、管理栄養士等の法人職員が清掃活動を行いました。常日頃から周辺環境の整備に努めていますが、さらに意識を高められるよう、これからも協力してまいります。



周辺清掃中の法人職員

お知らせ

地域の介護力アップのために  
介護初任者研修講座(旧ヘルパー2級)  
開催予定(10月~3月:全10回)

今年も「第11期 介護初任者研修」を開講する予定です。こちらは、法人職員だけでなく地域の方々や他事業所の方も受講できます。JR長岡京駅隣接の長岡京市生涯学習センター「バンビオ1番館」には7階に「千春会研修センター」が開設されており、中にはお風呂やベッド、車いす、トレーニングモデル、介護者体験キットやビデオ等が設置されており、研修環境が整えられていますので、実際に即した状況で学べます。これまで地域の方々が資格取得されていますので、ぜひ、活用して下さい。

秋からの全10回の開催予定

ご希望の方は、介護老人保健施設 春風まで  
お問合せ下さい。TEL (075) 953-6301

編集後記

今号、表紙は、清々しい渓谷美の摂津峡。大阪・北摂エリアという都会から気軽に立ち寄れる山林地帯は、豊かな自然が広がる公園となっており、大阪府高槻市中央を南北に流れる芥川の景勝地として、春は桜、夏は螢、川遊び、秋は紅葉と四季折々楽しめます。源流から支流を集め、流れる芥川は、早瀬を渡り、あちらこちらを清水で潤しながら、滋賀琵琶湖、京都、大阪を流れ、淀川の本流に注ぎ、そして海へと向かいます。

千春会も様々な地域にあって、細やかに、皆さまの生活を潤しながら、常に変わることないサービスを提供してまいります。

岩に分かれようとも最後は本流を違ひぬ清流の如く、「良質な医療・看護・介護・保育の提供」を使命の本流として、大きく豊かに、どうどうと…。(弘)

表紙写真…元・乙訓医師会会長、監事歴任の七岡先生ご提供

患者さまの権利と義務

当院では、次に掲げる患者さまの権利を尊重します。

- 1 患者さまは誰でも、良質な医療と良質な看護を公平に受ける権利があります。
- 2 患者さまは、医療の内容について納得できるまで十分な説明を受ける権利があります(インフォームドコンセント)。
- 3 患者さまは、他の医療機関の医療者に意見を求める権利があります(セカンドオピニオン)。
- 4 患者さまは、医師から説明を受けた治療方法など自らの意思で自由に選択し決定する権利があります。
- 5 患者さまは、ご自分の診療録など診療情報の開示を求める権利があります。
- 6 患者さまは、個人の情報やプライバシーの保護を受ける権利があります。

また良質な医療と看護を公平に受けていただくために、患者さまに次の義務をお願いしております。

- 1 患者さまご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にご提供ください。
- 2 十分理解できるまで質問していただき、納得した上で治療をお受けください。
- 3 患者さまおよびご家族の方々は、他の患者さまの治療や職員による医療提供の支障にならないように協力する義務があります。



日本医療機能評価機構認定病院

千春会病院

〒617-0826 京都府長岡市開田2丁目14-26  
TEL (075)954-2175 FAX (075)955-4615